

学校教育目標	夢を持ち豊かに生きる子どもを育てる	経営理念	『笑顔いっぱい学校』 【めざす学校像】全児童と全教職員の挨拶が響く学校・子ども達の自主性を育む学校 【めざす児童像】目標をもって挑戦し、自らを伸ばそうとする子 【めざす教師像】児童のやる気を引き出しながら授業改善に取り組む教職員
--------	-------------------	------	---

項目	重点	評価計画				自己評価				学校関係者評価 (学校運営協議会による評価)		改善方針	
		中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための方策	評価項目	達成度		達成度	評価	結果と課題の分析	評価		コメント
						10月	2月						
確かな学力	1	ゴールの姿を明確にした授業づくりによる学力向上	Oゴールの児童の姿を明確にした授業づくり OICT活用の日常化	・全体研、ブロック研、示範授業における研究協議の視点達成度 ・単元末テスト(活用型)国算・理の達成度 ・聴いて反応や言葉を選ぶことができる児童 ・ICT活用についての目標達成度	達成率85% 低88% 中88% 高82%以上	86% 88% 85% 高82%	86% 88% 85% 高84%	101 100 116 102	3	O研究協議の視点達成度は授業参観シートの平均点が86%で達成した。児童主体の学習になるよう、さらに研究推進を図る必要がある。 ●どの学年も目標値を達成することができた。しかし、思考、判断、表現においてはどの学年も目標値を下回っており、来年度の課題である。 O児童アンケートの「友だちの考えを聴いて、自分の考えを深めることができる」との項目で93%の児童が肯定的な意見を回答している。授業参観シートでは、「児童が話しやすい聴き方を意識し、それを他教科や日常生活でも実践しようとする姿が見られた。」という意見もあった。「聞き返す」力の基礎となる読解力の育成や個別最適な学びを協働的な学びの一体的な充実をさらに図る必要がある。 O授業で効果的に活用することができている。	A	・どのクラスも児童が落ち着いて授業を受けていたので感心した。聴くことの徹底の成果だ思う。先生方の教材研究や日々の授業の取組の成果だと思う。今後も教師の授業力向上にむけて取組を期待する。 ・学力向上に向け、小中連携の重要性を感じた。 ・児童がICTを自分のものとして使えるように、メリットデメリットを考えた学力の向上にこれからも取り組んでほしい。 ・「効果的」とは何で、誰が評価するのかということ児童にも関係者にもシンプルに示す必要がある。	・児童主体の学習になるように教材研究をしつかり行い、教職員の指導力の向上が図られる校内研修を実施する。 ・学校運営協議会など、機会をとらえて小中連携を密に行うことで学力の系統的な向上につなげていく。
				Oハワーアップタイム・モジュールの確実な実施 O1か月1冊も本を読まない児童ゼロ	・「ハワーアップ」とモジュールの実施 ・行事・季節・学習に合わせた各学年図書コーナーの設置や図書紹介2回 不読率0%	達成率90% 100% 0%	100% 100% 0%	111 100 0	3	O朝学習を行うことで、1時間目の学習に向かう心身の準備が整って落ち着いて学習に取り組むことができる。 O学習に合わせた本を標示したり、季節や行事に合わせた本を紹介したりして進んで読書をしている。また、地域の方や担任の読み聞かせで読書への興味を持ち、読書を楽しむ姿が見られている。	A	・朝の読書時間、本が好きな子はもちろんそうでない子どもでもあえず開く習慣がよい。小学校全体で読書の環境が整っている。環境から習慣への醸成はできた。今後は深化させていくことが求められる。 ・我が子のクラスでは、新刊が出るたびに図書室へ行くと言っている。皆でというのがよいと思った。 ・不読率はほぼゼロ。しっかりと好きな子を育ててほしい。 ・目標をポジティブな表現にしてはどうか。1か月1冊も読まない1冊以上読む。	・引き続き、1か月1冊以上本を読むことが継続できるように、行事・季節・学習に合わせた図書コーナーの設置などの読書文化を醸成する環境を整えていく。
豊かな心	2	「楽しい学校はみんなで作る」の具現化	O思いやりのある言葉と行動 O生活目標の達成 O観・連・相・確認の徹底による組織的かつ迅速な生徒指導	・命、情報モラル、多様性、特許、日本語、道徳等に関する授業公開と児童理解を促す取組の実施 ・主体的な委員会活動の実施と生活目標の達成度 ・児童の情報共有の日常化	児童評価95% 達成率90%	92% 83%	94% 80.8%	99 90 111 95	2	O友だちのよいところを見つけることができた児童の割合が前期よりも向上した。普段の生活の中での声かけや、行事等を通して友だちとの関わりの中で、児童同士が互いによりよいところを見つけることができる。 ●メディアコントロール週間を通して、家庭で意識して取り組むことができている。「児童の自己評価が80%に達している。メディアコントロール週間中は意識して取り組むが、メディアコントロール週間が終わると普段の生活に戻ってしまいう児童が多いようである。引き続き、児童への意識付けと家庭への啓発も重要である。 O委員会活動では、常時活動とは別にキャンペーンや強化週間など、委員会児童が主体的にできる活動を全ての委員会が行うことができている。児童主体の活動を今後も続けていく。 O様々なトラブル等が起きているが、情報の共有を行う時間を確保して対応する等、組織的に対応できている。	A	・自分のよいところを見つけた。見つけてもらったを評価した方がよい。 ・子供たちの笑顔がとってもよかった。いろいろ問題もあるとは思いますが、楽しい学校をみんなで作られたに嬉しい。 ・互いがよいところが見つけられるようにアンケート評価活動と日常的な称赞の言葉掛けに加え、行事等の協働的な場面で、お互いを認め合い、高め合う集団づくりを推進していく。	・友だちのよさに気づく児童の割合が向上した成果を基盤とし、引き続き継続して自己有用感の醸成を図る。日常的な称赞の言葉掛けに加え、行事等の協働的な場面で、お互いを認め合い、高め合う集団づくりを推進していく。
				・生活目標に対する各学年の取組の見ええ化と評価 ・生徒の主体的な活動の実施と生活目標の達成度 ・組織で生徒指導上の未解決ゼロ	達成率90% 100% 85.8%	94% 100% 85.8%	100 100 97.9	2	Oマクスを着用し、静かに配膳を行ったり、保健委員会の配布する消毒スプレーを使用したりすることで安心清潔な配膳をすることができた。低学年から発達段階に応じた給食指導や栄養教諭による食育指導を行っている。そのため、本校はとても残食が少しい。この取り組みを引き続き行ってきたい。 O校内放送の際、児童は動きを止めて静かに聞き、落ち着いて行動できるようにしている。引き続き自分の安全を守ることができるよう、考えて行動できる児童の育成を目指したい。	A	・運動、食事という取組もあっていて感心する。いろいろ工夫しながらこれからも体力向上に向けて頑張っていきたい。 ・できなかったことができるようになる喜び、できにくい子や苦手な子にフォローをしていく取組を求めている。 ・給食の残食はいつも学校に残がらなくてあってとても分かりやすい。 ・評価する項目が多いので、集計する先生方の負担になると思う。減らす方向で検討してみたいかが。 ・運動会と地域の体育大会の合同開催に期待している。体育振興会としっかりと話し合ってすばらしい行事となるようお願いしている。	・目標を持って運動に取り組む。その過程振り返りたり、課題についてステップで取り組ませたり、先の見通しを持たせたりすることで達成感を味わうことができるよう引き続き取り組んでいく。	
健やかな体	3	自分の健康や生活に関心を持ち、健康・体力づくりにチャレンジする児童の育成	O挑戦することによる自己成長の実感 Oよい姿勢の保持と食生活による健康増進 O学校安全・危機管理意識と行動力の向上	・体育朝会や体育的行事、授業等の取組の工夫 ・運動会をして目標に対する振り返りが自分の言葉で表現できる児童 ・避難訓練や集団行動等に係る事前指導の徹底 ・健康や安全の目標達成度	児童評価90% 達成率90%	97.5 83.8 92	85.2 97.8 97.8	108 109 109	3	O広島大学様や地域の皆様のご協力により、広大グラウンドを使用し、例年とは種目や場所が変わっても、それぞれの学年の創意工夫や関係各所のご協力により、よい運動会となった。運動会をやってよかったと肯定的に回答した児童の割合は97.5%と目標を達成することができた。 ●運動会をして目標に対する振り返りが自分の言葉でできた児童の割合は85.2%であった。体育科の授業のあてに振り返りを発表したり、校内持久走記録会などの行事で振り返りのワークシートを書いたりすることで多くの児童が自己の成長を感じることができた。 Oマクスを着用し、静かに配膳を行ったり、保健委員会の配布する消毒スプレーを使用したりすることで安心清潔な配膳をすることができた。低学年から発達段階に応じた給食指導や栄養教諭による食育指導を行っている。そのため、本校はとても残食が少しい。この取り組みを引き続き行ってきたい。 O校内放送の際、児童は動きを止めて静かに聞き、落ち着いて行動できるようにしている。引き続き自分の安全を守ることができるよう、考えて行動できる児童の育成を目指したい。	A	・運動、食事という取組もあっていて感心する。いろいろ工夫しながらこれからも体力向上に向けて頑張っていきたい。 ・できなかったことができるようになる喜び、できにくい子や苦手な子にフォローをしていく取組を求めている。 ・給食の残食はいつも学校に残がらなくてあってとても分かりやすい。 ・評価する項目が多いので、集計する先生方の負担になると思う。減らす方向で検討してみたいかが。 ・運動会と地域の体育大会の合同開催に期待している。体育振興会としっかりと話し合ってすばらしい行事となるようお願いしている。	・目標を持って運動に取り組む。その過程振り返りたり、課題についてステップで取り組ませたり、先の見通しを持たせたりすることで達成感を味わうことができるよう引き続き取り組んでいく。
				・各学年で地域単元を1年1回実施し学びを発信 ・地域の人がかかわることが楽しい児童 ・みそのタイムの充実 ・「響」を地域学習の集大成とする生活科や総合的な学習の時間の構築 ・職員同士の挨拶とねざらい	児童評価90% 達成率100% 達成率100%	22% 39%	92% 95%	105	3	・ボランティア活動に参加する児童が多くなった。地域とともに歩めることはとても大切に感じている。 ・これまで取り組みを大切にしながら新たな挑戦を進められ子ども達が安心して充実した学校生活を送れていると感じている。 ・学ぶちゃんノートについての情報が少ないのでは。何回で1冊たまる？1か月に何回ためないといけない？ ・学ぶちゃんノートの達成感が低いことについて取り組みを教職員や保護者の働きかけをすること。 ・学ぶちゃんノートには、地域参加や読書などの項目があるのでもちと生かすようにしたい。 ・何のための学ぶちゃんノートなのか児童は理解しているが、PTAの広報委員会と児童の委員会と一緒に親子で取り組むようにするのはいかが？ ・学ぶちゃんノートは家庭によっては難しい場合もあると思う。3年くらい取り組んでもらえない場合はやり方を変えるなどするのはいかがでしょうか(朝食、全校放送) ・動きやすい職場、先生同士の人間関係で子供に不都合がなければよいと考えている。 ・働き方改革が問われる中、学校と地域のコミュニケーションが重要になってくる。教職員、保護者、地域の土台をしつかりさせて、すばらしい職場をつくり、子供を目的地まで安全に運んでいきたいと思います。学校の先生は「風の人」PTA・地域の人は「土の人」つないでいきましょう。	・地域と関わる学習をさらに充実させ、郷土愛や帰郷意識等、地域を大切に思う気持ちを高めたい。 ・学ぶちゃんノートにおいて、児童や保護者に取組の目的を伝えるとともに、地域行事への参加や進路学習につながる活動には積極的に活用を呼びかけていく。 ・コミュニティ・スクールの仕組みを生かしながら、業務改善に取り組む。教職員が児童と向き合う時間の確保に努めていく。		
働きやすい職場づくりへの貢献	4	コミュニティ・スクールを生かした地域学習の構築 働きやすい職場づくりへの貢献	O地域と関わる学習の充実と発信 O創作表現「響」の継承 O明らかな活気ある職場づくりによる不祥事防止	・「響」を地域学習の集大成とする生活科や総合的な学習の時間の構築 ・職務研修の内容の見ええ化とパワハラ・セクハラ・情報漏洩等不祥事ゼロ	達成率100% 達成率100%	100% 100%	100% 100%	100 100	2	O学校全体で「響」の指導に関わり、各学年における地域での学びを「響」の発信につなげていく。 O職務研修計画を立て、事例等を活用した研修を月に2回以上実施した。自分事として研修するために、主とする担当を決め、研修を行っている。	B	・ボランティア活動に参加する児童が多くなった。地域とともに歩めることはとても大切に感じている。 ・これまで取り組みを大切にしながら新たな挑戦を進められ子ども達が安心して充実した学校生活を送れていると感じている。 ・学ぶちゃんノートについての情報が少ないのでは。何回で1冊たまる？1か月に何回ためないといけない？ ・学ぶちゃんノートの達成感が低いことについて取り組みを教職員や保護者の働きかけをすること。 ・学ぶちゃんノートには、地域参加や読書などの項目があるのでもちと生かすようにしたい。 ・何のための学ぶちゃんノートなのか児童は理解しているが、PTAの広報委員会と児童の委員会と一緒に親子で取り組むようにするのはいかが？ ・学ぶちゃんノートは家庭によっては難しい場合もあると思う。3年くらい取り組んでもらえない場合はやり方を変えるなどするのはいかがでしょうか(朝食、全校放送) ・動きやすい職場、先生同士の人間関係で子供に不都合がなければよいと考えている。 ・働き方改革が問われる中、学校と地域のコミュニケーションが重要になってくる。教職員、保護者、地域の土台をしつかりさせて、すばらしい職場をつくり、子供を目的地まで安全に運んでいきたいと思います。学校の先生は「風の人」PTA・地域の人は「土の人」つないでいきましょう。	・地域と関わる学習をさらに充実させ、郷土愛や帰郷意識等、地域を大切に思う気持ちを高めたい。 ・学ぶちゃんノートにおいて、児童や保護者に取組の目的を伝えるとともに、地域行事への参加や進路学習につながる活動には積極的に活用を呼びかけていく。 ・コミュニティ・スクールの仕組みを生かしながら、業務改善に取り組む。教職員が児童と向き合う時間の確保に努めていく。

4…目標を上回って達成
2…目標をやや下回って達成

3…目標どおり達成
1…目標をかなり下回って達成

A…とても適切である B…おおむね適切である
C…あまり適切でない D…全く適切でない (N…判定できない)